

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

主管課：生涯学習課

施策の目的

鑑賞型の文化事業に加え参加・育成型の文化活動を支援するとともに、文化財を保護し、歴史的遺産を活用した環境整備を進めることによって、市民のふるさと意識を醸成します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、文化財、歴史的遺産	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の生活文化が豊かになる ●鑑賞型文化事業に加え、参加・育成型の文化活動を行う市民が増える ●文化財を保護し、歴史的遺産を活用した環境整備を進め、ふるさと意識を持つ
--------------	--

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
芸術文化活動に参加している市民割合	%	51.4	45.0	-	48.6	41.3	45.3	↗
江別の歴史と文化に誇りを持ち愛する気持ちを持つ市民割合	%	37.6	43.9	-	33.7	36.3	36.5	↗

施策の達成状況(25年度)

芸術文化活動に参加している市民割合は、平成24年度に比べ4ポイント上昇しているものの、初期値に比べ6.1ポイント減少している。芸術文化活動は景気に左右されやすい面を持っており、鑑賞型の事業が減少したことが影響していると考えられる。一方で参加型の事業が増加しており、芸術文化活動に主体的に参加する市民が増えていることから、引き続き参加・育成型の活動への支援を行うことで市民ニーズに応えていく。

江別の歴史と文化に誇りを持ち愛する気持ちを持つ市民割合は、平成24年度に比べ0.2ポイント上昇しているものの、初期値に比べ1.1ポイント減少している。年代別にみると、30代から50代の割合が低くなっており、今後は、文化財や歴史的遺産を活用した事業の市民への周知方法を再検討するほか、やきもの市等のイベントやセラミックス交流会との連携促進を図るなかで、引き続き市民意識の醸成に取り組んでいく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	253,711	241,557	258,705	263,096	259,893
事業費(千円)	180,270	170,226	188,476	188,143	186,449
人件費(千円)	73,441	71,331	70,229	74,953	73,444

基本事業**01 自主的市民文化・芸術活動の育成・支援****基本事業の目的**

文化事業の補助・支援や施設整備により、市民が質の高い芸術文化に親しめる機会を増やし、理解を深めます。また、文化活動の場と発表の機会を広げ、活発に文化活動が行えるようにします。

対象(誰を対象とした指標か)**意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)**

市民、アーティスト、文化団体

・市民の自主的文化活動の活発化とアーティストの集積などによる独自の芸術文化の発信や関連産業の創出により、市民文化の質の向上が図られる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
各種文化事業数	件	201	317	269	273	269	267	250
各種文化事業参加者数	人	85,863	94,664	76,972	74,405	73,441	74,340	90,000

基本事業の達成状況(25年度)

「各種文化事業数」は、価値観の多様化などから減少傾向となっているが、初期値に比べ大幅に増え目標値を上回っていることは評価できる。「各種文化事業参加者数」も減少しているが、これは鑑賞型の事業参加者が減少したためである。しかし一方で、参加型の文化事業数が増加しており、芸術文化活動に主体的に参加する市民が増えていると考える。今後も、地域文化の創造のために引き続き事業内容の充実や参加者主体の事業充実のため活動団体等への支援を行っていく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	163,908	142,312	174,431	168,259	159,216
事業費(千円)	132,788	112,490	144,333	138,199	130,308
人件費(千円)	31,120	29,822	30,098	30,060	28,908

基本事業の目的

文化支援のNPOや市民メセナ(芸術文化支援活動)などを育成支援し、市民の手による芸術文化事業を拡大します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、NPO等文化芸術団体

・企業、財団、NPO等の民間組織による芸術文化事業等が拡充され活発に活動される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
NPO等の芸術文化支援組織数	件	3	3	3	3	3	3	5
市民組織による芸術文化事業数	件	85	87	85	77	85	89	90

基本事業の達成状況(25年度)

「NPO等の芸術文化支援組織数」は、3団体と増減はなく目標値には達しなかった。江別市の文化団体をほぼ網羅している文化協会、音楽関係に江別楽友協会、演劇関係に旧岡田倉庫活用民間運営協議会の3団体が芸術文化を支援する主なNPO組織である。この指標は、補助金により支援する団体を対象としているため、補助金以外の支援も含めた団体とするなど検討する必要がある。「市民組織による芸術文化事業数」も、平成23年度に減少したものの、ほぼ横ばいで推移し目標値に近づく結果となった。今後も関係機関との連携を含め、市民のための事業推進が図られるよう育成支援していく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	6,374	6,324	5,059	8,257	6,375
事業費(千円)	3,055	3,100	2,250	5,050	3,250
人件費(千円)	3,319	3,224	2,809	3,207	3,125

基本事業

03 文化・歴史遺産の保存と継承

基本事業の目的

史跡整備や文化財・まちの歴史の調査などを行い、江別市の文化・歴史遺産を後の世代に正しく継承します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、郷土の歴史や芸能等の継承に関わる団体	・文化財や歴史遺産の継承とその保存活用により、地域特性に根ざした文化の創造と新しい都市のアイデンティティが形成される。
-----------------------	---

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
文化財や歴史遺産の継承と保存活用により個性豊かな文化が育っていると思う市民割合	%	44.0	43.8	-	45.3	45.1	43.8	↗

基本事業の達成状況(25年度)

文化歴史遺産の保存と継承は、江別ガイドブックシリーズの発行や史跡の整備、文化財標柱・説明板・標識などで市民周知を図ってきたが、「文化財や歴史遺産の継承と保存活用により個性豊かな文化が育っていると思う市民割合」については、初期値よりも0.2ポイント低い結果となった。文化財の位置を案内する標柱などは、土地区画整理などで撤去した箇所もあり、市民にとって分かりづらい面もあったと考える。今後は、設置の箇所が固まり次第再設置するとともに、市民向けの「再発見江別探訪」などの事業の周知方法や事業内容について再検討して取り組んでいきたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	63,188	68,801	58,400	65,108	71,658
事業費(千円)	27,090	33,337	23,888	26,230	33,763
人件費(千円)	36,098	35,464	34,512	38,878	37,895

基本事業

04 れんがの保存と活用

基本事業の目的

歴史的れんが建造物の保存・活用を図るとともに、れんがの活用を進めます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、歴史的遺産	・れんがの保存活用
----------	-----------

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
れんがのまちを誇りに思う市民割合	%	74.0	78.1	-	74.9	76.5	73.2	↗
れんがを活用している市民割合	%	42.3	42.4	-	40.3	42.2	39.3	↗

基本事業の達成状況(25年度)

「れんがのまちを誇りに思う市民割合」は、平成24年度に比べ3.3ポイント減少しているものの、75%前後の水準で推移している。また、「れんがを活用している市民割合」に関しては、平成24年度に比べ2.9ポイント減少しているものの、依然4割の市民が活用しており、れんがのまちに対する評価が高く愛着を感じている市民が多いと思われる。今後は更なるれんがの保存活用を推進するため、やきもの市等のイベントやセラミックス交流会と連携を図るなかで、市民意識の醸成に取り組んでいく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	19,790	19,084	20,364	21,025	22,231
事業費(千円)	17,301	17,069	17,956	18,620	19,106
人件費(千円)	2,489	2,015	2,408	2,405	3,125